

永田さんの家はザーフと圓へ。

永田昌民さんは私の家を造つてくださった建築家です。住宅を数多く手がけている永田さんの新しいお家はどんなだろう？ こぢんまりしてささやかで、でも住みよさそうで、とてもほつとする普通のお家でした。住宅建築の基本の家だと思いました。

大橋 前のお家は、学生時代に永田さんが設計されて、ずっと長いこと住んでらしたんですね。

永田さん 20数年住んでいたんですが、借家だったんです。2年前に「契約は来年で終わらせます」と言われて。それじゃ、どこか引っ越し先を探さなきゃいけないねって話になって、探していました。

大橋 でも、この家、今は永田さんの家ですけれど、最初、設計なさるときは、借家として考えていたんですね。

永田さん そうです。土地を探しているとき、建設会社から「借家で貸すから好きに作つていでよ」って声をかけられて設計したんです。だから、将来、われわれが出ていったときは、ほかの人が住めるようにしてかなきやいけないだろうってことも多少、頭に入れて設計しました。

大橋 でも、それが土地ごと買うことになってしまったのは？

永田さん こここの家と隣の家は旗竿敷地つていいって、土地の形が旗と棹のようになってるんです。家の建つている広い部分に入るには、旗竿のよう細いところを通らなければならない。こういう土地は安いんですよ。旗竿の土地の建物をやつてみよう、と思ったのは、こういうところに建設会社が家を建てて売るときに「ああいうふうにすれば、いいね」ってこ

ともなると思つたから。家つて不動産価値だけじゃない部分もあるじゃない？

大橋 その旗竿のところに、前の家庭にあつた草花を全部持ってきて植えたんですよ。

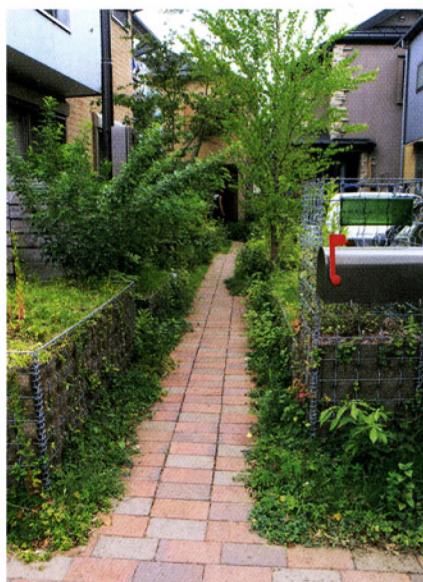
永田さん そう。緑を植えてたいへんなことしたから、結局、自分たちで買うことにしたんです。60歳すぎてからのローン生活ですよ。僕、ローンがどうなつているかとか、どういう手続きしたらいいのかとか、全然わからないでしょ。

大橋 人のを建ててるだけだから(笑)。

永田さん そういうことを初めて知つて。みなさん、こういう苦労をして家を建ててるんですよって言われました。

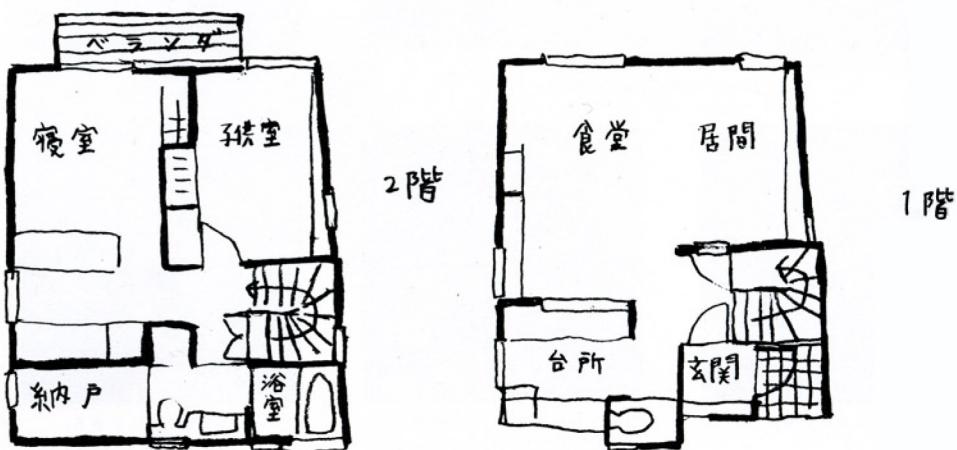
大橋 やっぱり。家建てるつてたいへんですよ。お金のことも。

永田さん わかりました。少し反省します。



ずいぶん奥だから、永田さんのお家をみつけるのがたいへんでした。

永田家見取り図



まずアプローチの緑を楽しんで。

永田さん ここは外にこれだけ緑があるし、前に公園みたいなものもあるし。あと、空が見えるでしょ？ それが前に住んでいたところと違いますね。道路側はナシ畑とラズベリー畑があつて、なんとなく雰囲気がいいですよ。

永田夫人 昨日はブルーベリーを摘んできたの。近所にいっぱいあるんです。自分で好きに摘んで量って、キロ1,000円とか。

大橋 うらやましい！ 引っ越すと、新しい土地で何かがあるからいいですね。

永田夫人 私は前のところより、こっちのほうが気に入っています。

大橋 よかつたですね。お庭作りをずっとしていらっしゃったから、広いお庭のあつた前の家のほうがよかつたのかしら、と思っていたんですけど。

永田夫人 やっぱり、前の家の草花を全部持つてこられたからですよね。それがなかつたら、いつも向こうに気持ちを残していたと思います。全部いっしょに移つてこられたことで、本当に未練はないですね。大きな木は初めからあきらめていましたけど、草花は限られた中で、どうやってチョイスしようかって悩むところがすごくあつたので。

大橋 庭が引つ越してこられるっていうのは、すごいですよね。

永田夫人 そうですね。考えたことなかつたですよね。

大橋 広い庭から越してきて、こういう



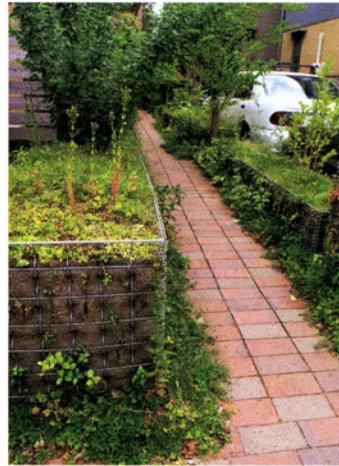
花の終わったオカトラノオ。
房尾に似ている。(白い花)



カツラの木の下の
ツワブキゲンノショウコです。



ドングリから芽を出した
コナラの幼木。



「5×緑」のシステムを使われている。



ゲンノショウコ（薬草）です。



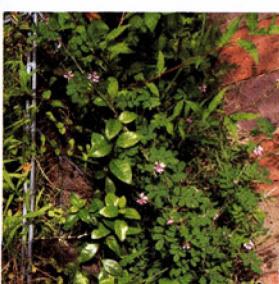
ティカズラ（ツル性）と
タカサゴユリ（白）。



つい左右の草木を見て歩いてしまう。



エゴノキ。
初夏白い花をたっぷり。
下を向いて咲くそうです。



ティカズラとコマツナギ。



コマツナギ（マメ科）野原や土手、
道ばたの日当たりのよいところに
咲くそうです。



木や花の説明をしてくださる。

形になるっていうのはすごい。

永田さん 面積的に、そんなの無理じゃないって思いますよね。でも、移植の担当者が「前の家の図面をください」って言って、一生懸命、庭の平米数だして比べて。向こうが50何平米で、こっちが43平米。で、大丈夫ですよって。結局は植物のほうが足りなかつたんですよ。

永田夫人 それで、芝生を少し入れたんですよ。

大橋 足りなかつたんですか？ 何か前の庭はすごく広いと思つたんですけど。

永田夫人 日陰に育つている植物とか、日がサンサンと当たつているところの植物とかあるでしょ。それを、切り取るときに、これは日陰のもの、これは日の当たるところのものってテープで区別して持つてきたんです。いろいろやつていふうちに、全部ごちやまぜになつてしまつて。10人くらいでやつてましたから。

永田さん でも、ここに来て成長がよくなっていますよ。大きな木がなくなつて日当たりがよくなつたせいもありますね。

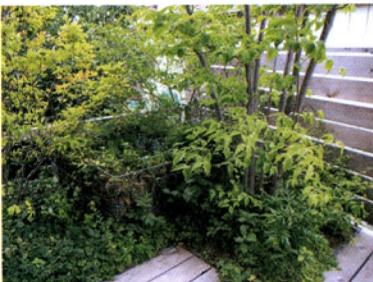
大橋 この方法があれば、これからは、建て直しや引っ越しされる方で、お庭を建て直しや引っ越しされる方で、お庭を大切にしている方も安心ね。

永田夫人 こういう個人の住宅で「5×5
縁」方式を入れることはあっても、植物を切り取つて移植するのは初めてだつておつしやつてましたよ。だから、実験がないですね。春が楽しみですね。

大橋 本当に1年とは思えないくらい、

ちゃんと育つっていますよね。これが新しく植えられたものだつたら、こうはならないですね。春が楽しみですね。

永田さん 春が一番、花がきれいですね。



「5×5縁」に埋込まれた水鉢。
旧宅から持ってきた。
メダカ、フナ、タナゴ、ドジョウも一緒に。



食堂からテラスを見る。毎年、緑はふくらむ。
それが楽しみですね。



水鉢のまわりは、ゲンノショウコ、
タツナミソウ、クラマコケ等の下草。



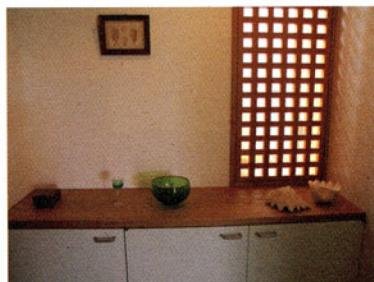
テラスに出てみました。
右のは旧居から移植したヤマボウシ。



2代目のメグスリの木です。



ジャカラント（ムラサキ色の小さな花が咲く）。
原産地はメキシコ?一鉢もらってきちゃった。



玄関を入ると下駄箱らしい上に、なんだか
かわいらしい器とか飾ってあります。